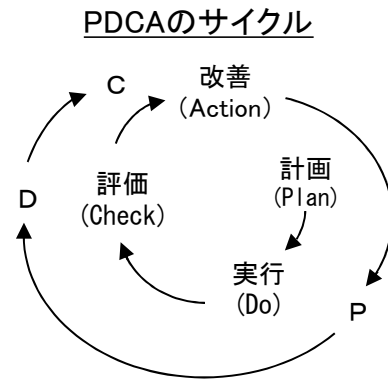


「科学的接近」と「PDCAサイクル」

研修は、計画作りの準備という位置づけです。職場に帰ってからの実行がなければ、何も変わりません。PDCAのサイクルを回すのが、「個人の報連相」と「職場の報連相」をレベルアップする王道です。

- 科学的接近の6つのステップ**
- ①目的を明らかにする
 - ②事実を集める
 - ③事実について考える
 - ④計画を立てる(P)
 - ⑤実行する(D)
 - ⑥あとを確かめる(C・A)



科学的接近のステップの④⑤⑥が、PDCA(Plan Do Check Action)ということになります。PDCAは、「C・A」をまとめて「PDS」とも言います。(S=See)

職場での実行計画(情報の共有化の目標づくり)

報連相のレベル表(手作り) (注: 実際のサイズはA4横)

	報告	連絡	相談
これだけはやる			
これだけはやめる	例えば・・・ ・・・というようなことはやめる	例えば・・・ ・・・というようなことはやめる	例えば・・・ ・・・というようなことはやめる

平成 年 月 日 職場名

相談した人達は:

※ 上記の「計画」を職場で相談を重ねてつくる→「実行」→「評価」→「改善」。これを継続する。